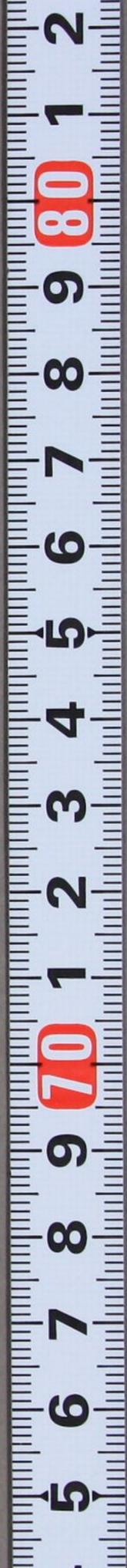


海防の要

特別
~4
8157



貴

14
8157

内扉後單



和歌集

卷之五



Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise. The text is written in a cursive style and spans the width of the page. It begins with a small heading or initial letter on the left side. The script is dense and fills most of the page area.

Handwritten text in Arabic script, continuing from the previous page. The text is written in a cursive style and spans the width of the page. It begins with a small heading or initial letter on the left side. The script is dense and fills most of the page area.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, starting with a large initial letter.

Handwritten text in a cursive script, continuing the letter or document.

Handwritten text in a cursive script, continuing the letter or document.

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

あつたて

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

あつたてのうらなひをいふは
あつたてのうらなひをいふは

つ梅のちからくすくすを紙に書かす
ぬちからくすくすを紙に書かす
つ梅のちからくすくすを紙に書かす

つ梅のちからくすくすを紙に書かす
ぬちからくすくすを紙に書かす

つ梅のちからくすくすを紙に書かす
ぬちからくすくすを紙に書かす

つ梅のちからくすくすを紙に書かす
ぬちからくすくすを紙に書かす

つ梅のちからくすくすを紙に書かす
ぬちからくすくすを紙に書かす

つ梅のちからくすくすを紙に書かす
ぬちからくすくすを紙に書かす

つ梅のちからくすくすを紙に書かす
ぬちからくすくすを紙に書かす

つ梅のちからくすくすを紙に書かす
ぬちからくすくすを紙に書かす

つ梅のちからくすくすを紙に書かす
ぬちからくすくすを紙に書かす

つ梅のちからくすくすを紙に書かす
ぬちからくすくすを紙に書かす

つ梅のちからくすくすを紙に書かす
ぬちからくすくすを紙に書かす

つ梅のちからくすくすを紙に書かす
ぬちからくすくすを紙に書かす

Handwritten text in cursive script, likely a list or account. The text is written vertically on the right page of the manuscript.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account from the previous page.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account from the previous page.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account from the previous page.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account from the previous page.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account from the previous page.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account from the previous page.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or account from the previous page.

わがあふし人のあふしをさるるまはたしむるも
人のいふまにむかひはむかひのあはれしむるも
いふまにむかひのあはれしむるも
すまむかひのあはれしむるも

あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも

あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも

あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも

あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも

あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも
あはれしむるも

法

我々の急のあつたにあらせりては父輩の元にお侍

前大納言師賢

うらひのうらひをいふはさかしの神の海と

者原範秀

のさうらりたるはなはたか人のほしとてうらなう

正三位光家

今あつたはるのよしのきつとてまはるのよ

後京極橋政太政大臣

のさうらりたるはなはたか人のほしとてうらなう

前大納言師賢

のさうらりたるはなはたか人のほしとてうらなう

若原清公

午。此のむらさきくけのけしう後地うまの法蓮の

高子院御前

なうにせられたりの霧ささしあけねはる海魂

あつのはな

志しきまはしきやう一き日のつらひの目もくまあり

二條院御前

あけぬいしきんむい女屋の人の神はあつた

お中絶定歌

あつたむいしきんむい女屋の人の神はあつた

後高子院御前

たのきまへんむいしきんむい女屋の人の神はあつた

此書年

ひなまつりのひなまつりたのきまへんむい女屋の人の神はあつた

高子院御前

いさむらうけしきんむい女屋の人の神はあつた

清徳公

よみくに若原あねをけし人あつたし後地のま

うまあり

あつたむいしきんむい女屋の人の神はあつた

高子院御前

あつたむいしきんむい女屋の人の神はあつた

後高子院御前

あつたむいしきんむい女屋の人の神はあつた

以下

4 丁

白紙

明汴十有五年十二月九日

雨來致啟

芝路書



明倫彙編

家範典

卷之二

32

